

運用報告書 (全体版)

新光ブラジル債券ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2008年12月22日から2023年12月8日まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	以下の投資信託証券を通じて、主としてブラジルレアル建てのブラジル国債に実質的に投資を行います。 ブラジル籍外国投資法人 ユニバンコ・ブラジル・ソプリ ン・エヌールアイの投資証券 内国証券投資信託（親投資信託） 短期公社債マザーファンドの受益証券
	短期公社債マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	投資信託証券を通じて、主としてブラジルレアル建てのブラジル国債に実質的に投資を行い、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、ブラジル債券・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。	
組入制限	当ファンド	投資信託証券および短期金融商品（短期運用の有価証券を含みます。）以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	短期公社債マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

第131期	<決算日	2020年1月8日>
第132期	<決算日	2020年2月10日>
第133期	<決算日	2020年3月9日>
第134期	<決算日	2020年4月8日>
第135期	<決算日	2020年5月8日>
第136期	<決算日	2020年6月8日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「新光ブラジル債券ファンド」は、2020年6月8日に第136期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客様の取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

新光ブラジル債券ファンド

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入率	投資証券比率	純資産額
		(分配落)	税金分配	み騰落率			
第19作成期	107期(2018年1月9日)	円 2,706	円 75	% 2.9	% -	% 92.2	百万円 86,618
	108期(2018年2月8日)	2,543	75	△3.3	-	97.0	82,279
	109期(2018年3月8日)	2,435	75	△1.3	-	97.0	79,699
	110期(2018年4月9日)	2,330	40	△2.7	-	93.0	77,218
	111期(2018年5月8日)	2,218	40	△3.1	-	90.1	71,945
	112期(2018年6月8日)	1,912	40	△12.0	-	95.9	58,151
第20作成期	113期(2018年7月9日)	1,942	40	3.7	-	94.9	57,687
	114期(2018年8月8日)	2,002	40	5.1	-	95.3	58,875
	115期(2018年9月10日)	1,782	40	△9.0	-	94.1	52,112
	116期(2018年10月9日)	1,965	40	12.5	-	94.5	57,011
	117期(2018年11月8日)	2,019	20	3.8	-	94.9	58,198
	118期(2018年12月10日)	1,908	20	△4.5	-	95.3	52,037
第21作成期	119期(2019年1月8日)	1,945	20	3.0	-	93.3	52,165
	120期(2019年2月8日)	1,980	20	2.8	-	95.4	51,999
	121期(2019年3月8日)	1,918	20	△2.1	-	94.6	49,804
	122期(2019年4月8日)	1,914	20	0.8	-	94.8	49,372
	123期(2019年5月8日)	1,843	20	△2.7	-	94.5	47,362
	124期(2019年6月10日)	1,882	20	3.2	0.1	96.3	47,867
第22作成期	125期(2019年7月8日)	1,926	20	3.4	0.2	96.3	48,165
	126期(2019年8月8日)	1,811	20	△4.9	0.2	96.5	44,022
	127期(2019年9月9日)	1,766	20	△1.4	0.2	96.7	42,349
	128期(2019年10月8日)	1,755	20	0.5	0.2	97.1	41,774
	129期(2019年11月8日)	1,799	20	3.6	0.2	97.3	42,031
	130期(2019年12月9日)	1,747	20	△1.8	0.2	96.5	40,448
第23作成期	131期(2020年1月8日)	1,750	20	1.3	0.2	94.8	40,190
	132期(2020年2月10日)	1,669	20	△3.5	0.2	95.6	37,777
	133期(2020年3月9日)	1,451	20	△11.9	0.2	95.2	32,691
	134期(2020年4月8日)	1,317	20	△7.9	0.3	96.1	29,256
	135期(2020年5月8日)	1,161	10	△11.1	0.4	95.6	25,578
	136期(2020年6月8日)	1,414	10	22.7	0.3	95.7	30,137

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資証券組入率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注5) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率	投 資 証 比	券 率
		円	騰 落 率			
第131期	(期首) 2019年12月9日	1,747	-	0.2		96.5
	12月末	1,803	3.2	0.2		95.3
	(期末) 2020年1月8日	1,770	1.3	0.2		94.8
第132期	(期首) 2020年1月8日	1,750	-	0.2		94.8
	1月末	1,704	△2.6	0.2		96.0
	(期末) 2020年2月10日	1,689	△3.5	0.2		95.6
第133期	(期首) 2020年2月10日	1,669	-	0.2		95.6
	2月末	1,609	△3.6	0.2		95.8
	(期末) 2020年3月9日	1,471	△11.9	0.2		95.2
第134期	(期首) 2020年3月9日	1,451	-	0.2		95.2
	3月末	1,343	△7.4	0.1		96.0
	(期末) 2020年4月8日	1,337	△7.9	0.3		96.1
第135期	(期首) 2020年4月8日	1,317	-	0.3		96.1
	4月末	1,282	△2.7	0.4		96.6
	(期末) 2020年5月8日	1,171	△11.1	0.4		95.6
第136期	(期首) 2020年5月8日	1,161	-	0.4		95.6
	5月末	1,280	10.2	0.4		94.9
	(期末) 2020年6月8日	1,424	22.7	0.3		95.7

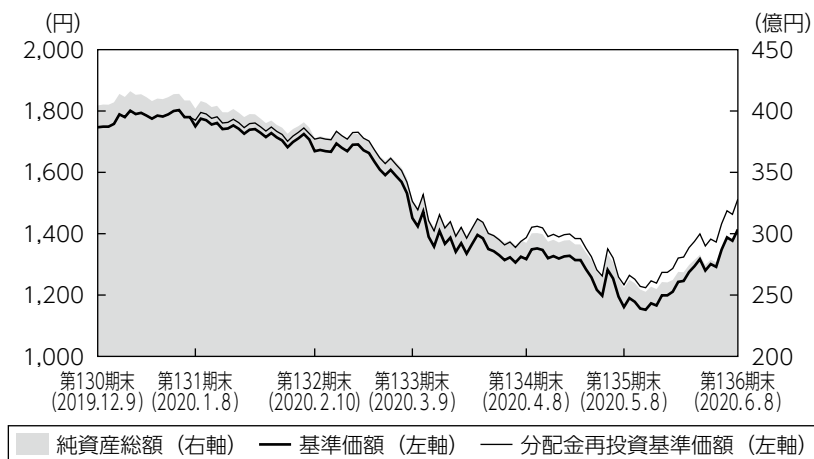
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第131期～第136期の運用経過（2019年12月10日から2020年6月8日まで）

基準価額等の推移



第131期首： 1,747円
 第136期末： 1,414円
 （既払分配金100円）
 騰落率： △13.4%
 （分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

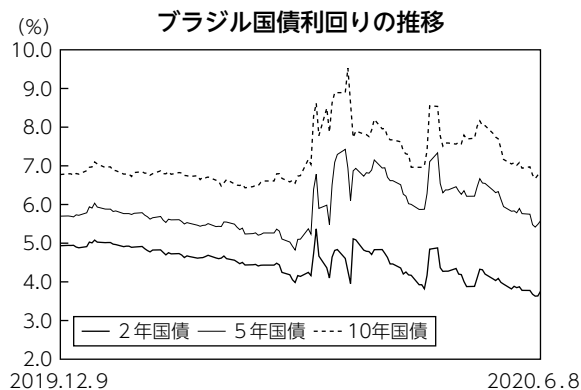
基準価額の主な変動要因

ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ（以下、ブラジルボンド・ファンド）投資証券等への投資を通じてブラジルリアル建てのブラジル国債などに投資を行いました。その結果、債券市場は堅調となったものの、ブラジルリアルが対円で軟調となったことから基準価額は下落しました。

投資環境

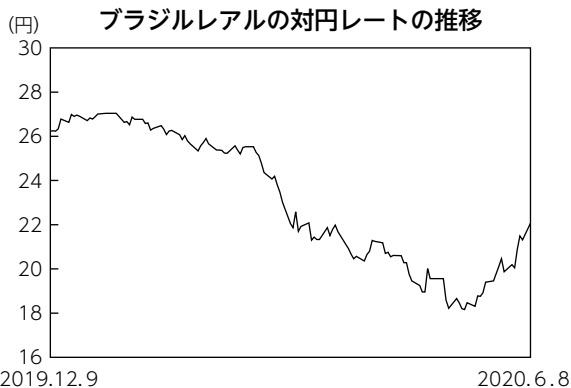
●ブラジル債券市場

作成期初は、国内景気は緩やかながらも改善が窺えたものの、2020年に入ると新型コロナウイルスの世界的な感染拡大から景気の減速懸念が強まりました。このような中、ブラジル中銀は金融緩和を継続しました。債券市場は一時新型コロナウイルスの感染拡大を背景としたリスク回避の動きから調整する場面もあったものの、利下げの継続や世界的に景気の先行き不透明感が徐々に後退したことで反発し、作成期末を迎えました。



●為替市場

ブラジルレアルは、格付け見通しが改善したことに加え、米中間の貿易問題で第一段階の合意に至ったことでリスク選好の動きとなったことなどが押し上げ要因となった一方、緩やかな回復に留まる景気などが押し下げ要因となり作成期初より2020年2月中旬にかけては一定範囲内での動きとなりました。その後、新型コロナウイルスの感染拡大による景気への影響が懸念される中、ブラジル中銀の相次ぐ利下げなどを受けて対米ドル、対円ともに下落して作成期末を迎えました。



●短期金融市場

3ヵ月物国庫短期証券の利回りは日銀の短期国債の買い入れ姿勢や海外勢の需要などを睨み、マイナス圏で推移しました。

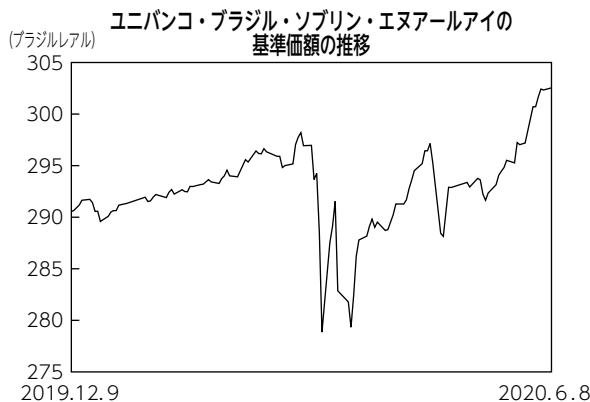
ポートフォリオについて

●当ファンド

資金動向に応じてブラジルボンド・ファンドの売買を行い、作成期間を通じてブラジルボンド・ファンドの高位組入れを維持しました。また、短期公社債マザーファンドへの投資も継続しました。

●ブラジルボンド・ファンド

安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルレアル建てのブラジル国債を高位に組み入れて運用を行いました。当作成期間においては、引き続き利付・割引債券と比較して比較的値動きの落ち着きがある物価連動債を中心にポートフォリオを構築しました。デフレーションは金融緩和の動きを想定し、長めとしておりましたが、将来の財政への懸念も考慮し、前作成期末と比較して短期化しました。



※当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

●短期公社債マザーファンド

主としてわが国の短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期
	2019年12月10日 ～2020年1月8日	2020年1月9日 ～2020年2月10日	2020年2月11日 ～2020年3月9日	2020年3月10日 ～2020年4月8日	2020年4月9日 ～2020年5月8日	2020年5月9日 ～2020年6月8日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	10円	10円
対基準価額比率	1.13%	1.18%	1.36%	1.50%	0.85%	0.70%
当期の収益	20円	20円	20円	20円	10円	10円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	938円	943円	946円	948円	957円	962円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

資金動向や市況動向などを考慮しながら、ブラジル債券・ファンドを高位に組み入れて運用を行う方針です。また、国内の短期金融市場動向に加え、資金繰りの状況等を勘案して、短期公社債マザーファンドの組み入れを適宜行う方針です。

●ブラジル債券・ファンド

ブラジル経済は、新型コロナウイルスの景気への影響を見定める必要があるものの、過去最低水準にある政策金利などが景気の下支えになると考え、緩やかながらも景気が回復すると見込まれます。金融政策に関しては、物価上昇圧力は依然として落ち着いていることから緩和的な金融政策が維持されると見られ、債券市場の底堅い動きを想定しています。

引き続き、安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルリアル建てのブラジル国債を高位に組み入れる方針です。

●短期公社債マザーファンド

金利水準等に注視しながらわが国の短期公社債を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第131期～第136期 (2019年12月10日 ～2020年6月8日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	10円	
(投信会社)	(4)	(0.245)	
(販売会社)	(6)	(0.383)	
(受託会社)	(0)	(0.025)	
(b) その他費用	1	0.096	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(1)	(0.096)	
(監査費用)	(0)	(0.000)	
合計	11	0.749	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

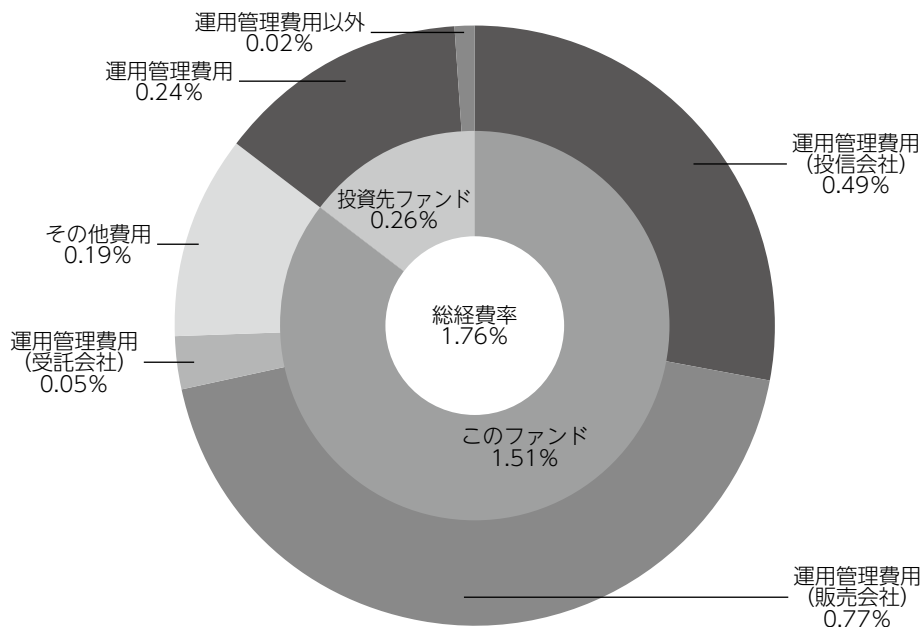
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率 (①+②+③)	1.76%
①このファンドの費用の比率	1.51%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.24%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■**売買及び取引の状況**（2019年12月10日から2020年6月8日まで）
投資証券

		第 131 期 ~ 第 136 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	ユニバンク・ブラジル・ソプリン・エヌアールアイ	千□ -	千ブラジル・レアル -	千□ 297.7133142	千ブラジル・レアル 83,000

(注) 金額は受渡代金です。

■**親投資信託受益証券の設定、解約状況**（2019年12月10日から2020年6月8日まで）
期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■**利害関係人との取引状況等**（2019年12月10日から2020年6月8日まで）
期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■**組入資産の明細**

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第22作成期末	第 23 作 成 期 末			比 率
	□ 数	□ 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
ユニバンク・ブラジル・ソプリン・エヌアールアイ	千□ 5,123.8143678	千□ 4,826.1010536	千ブラジル・レアル 1,306,199	千円 28,827,815	% 95.7
合 計	5,123.8143678	4,826.1010536	1,306,199	28,827,815	95.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率は、期末の純資産総額に対する投資証券評価額の比率です。

(注3) 金額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

(2) 親投資信託残高

	第 22 作 成 期 末	第 23 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
短期公社債マザーファンド	千□ 107,294	千□ 107,294	千円 109,236

■投資信託財産の構成

2020年6月8日現在

項 目	第 23 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 28,827,815	% 94.5
短期公社債マザーファンド	109,236	0.4
コール・ローン等、その他	1,564,388	5.1
投資信託財産総額	30,501,440	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、29,147,351千円、95.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年6月8日における邦貨換算レートは、1ブラジル・レアル=22.07円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年1月8日)、(2020年2月10日)、(2020年3月9日)、(2020年4月8日)、(2020年5月8日)、(2020年6月8日)現在

項 目	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末
(A) 資 産	40,720,906,829円	38,336,873,197円	33,282,350,388円	29,795,198,688円	26,356,769,318円	30,501,440,613円
コール・ローン等	1,866,750,459	2,129,529,435	2,041,538,364	1,575,600,163	1,332,072,484	1,564,388,950
投資証券(評価額)	38,080,529,871	36,098,096,999	31,131,565,261	28,110,362,492	24,456,572,315	28,827,815,630
短期公社債マザーファンド(評価額)	109,246,763	109,246,763	109,246,763	109,236,033	109,236,033	109,236,033
未収入金	-	-	-	-	458,888,486	-
未収配当金	664,379,736	-	-	-	-	-
(B) 負 債	530,816,512	559,772,503	591,340,058	538,960,322	778,606,872	363,604,445
未払金	-	-	-	-	456,447,918	-
未払収益分配金	459,189,476	452,798,038	450,536,644	444,354,556	220,394,953	213,089,255
未払解約金	27,017,955	59,816,995	103,320,690	61,465,875	70,737,132	120,215,629
未払信託報酬	44,530,683	47,077,355	37,417,611	33,078,009	30,967,375	30,240,078
その他未払費用	78,398	80,115	65,113	61,882	59,494	59,483
(C) 純資産総額(A-B)	40,190,090,317	37,777,100,694	32,691,010,330	29,256,238,366	25,578,162,446	30,137,836,168
元 本	229,594,738,293	226,399,019,253	225,268,322,091	222,177,278,260	220,394,953,407	213,089,255,924
次期繰越損益金	△189,404,647,976	△188,621,918,559	△192,577,311,761	△192,921,039,894	△194,816,790,961	△182,951,419,756
(D) 受益権総口数	229,594,738,293口	226,399,019,253口	225,268,322,091口	222,177,278,260口	220,394,953,407口	213,089,255,924口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,750円	1,669円	1,451円	1,317円	1,161円	1,414円

(注) 第130期末における元本額は231,472,370,606円、当作成期間(第131期～第136期)中における追加設定元本額は9,038,685,690円、同解約元本額は27,421,800,372円です。

■損益の状況

〔自 2019年12月10日 至 2020年1月8日〕〔自 2020年1月9日 至 2020年2月10日〕〔自 2020年2月11日 至 2020年3月9日〕〔自 2020年3月10日 至 2020年4月8日〕〔自 2020年4月9日 至 2020年5月8日〕〔自 2020年5月9日 至 2020年6月8日〕

項 目	第 131 期	第 132 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期
(A) 配 当 等 収 益	664,075,180円	634,609,080円	549,086,690円	519,447,822円	455,607,925円	317,025,621円
受 取 配 当 金	664,160,919	634,653,205	549,119,295	519,484,712	455,652,549	317,070,462
受 取 利 息	250	456	104	203	164	357
支 払 利 息	△85,989	△44,581	△32,709	△37,093	△44,788	△45,198
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△89,474,909	△1,975,041,183	△4,952,485,641	△3,021,776,945	△3,643,028,781	5,340,798,029
売 買 益	436,368,518	△109,232	688,615	14,379,140	2,271,328	5,347,682,129
売 買 損	△525,843,427	△1,974,931,951	△4,953,174,256	△3,036,156,085	△3,645,300,109	△6,884,100
(C) 信 託 報 酬 等	△49,725,085	△57,336,470	△37,482,724	△37,859,408	△35,601,238	△38,047,929
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	524,875,186	△1,397,768,573	△4,440,881,675	△2,540,188,531	△3,223,022,094	5,619,775,721
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△43,969,725,171	△42,938,083,907	△43,962,913,549	△47,993,289,958	△50,380,443,068	△51,912,819,794
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△145,500,608,515	△143,833,268,041	△143,722,979,893	△141,943,206,849	△140,992,930,846	△136,445,286,428
(配 当 等 相 当 額)	(9,720,226,811)	(9,681,075,822)	(9,791,613,137)	(9,702,320,556)	(9,666,511,480)	(9,373,085,909)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△155,220,835,326)	(△153,514,343,863)	(△153,514,593,030)	(△151,645,527,405)	(△150,659,442,326)	(△145,818,372,337)
(G) 合 計 (D + E + F)	△188,945,458,500	△188,169,120,521	△192,126,775,117	△192,476,685,338	△194,596,396,008	△182,738,330,501
(H) 収 益 分 配 金	△459,189,476	△452,798,038	△450,536,644	△444,354,556	△220,394,953	△213,089,255
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△189,404,647,976	△188,621,918,559	△192,577,311,761	△192,921,039,894	△194,816,790,961	△182,951,419,756
追 加 信 託 差 損 益 金	△145,500,608,515	△143,833,268,041	△143,722,979,893	△141,943,206,849	△140,992,930,846	△136,445,286,428
(配 当 等 相 当 額)	(9,720,227,040)	(9,681,076,107)	(9,791,613,515)	(9,702,320,642)	(9,666,511,571)	(9,373,085,966)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△155,220,835,555)	(△153,514,344,148)	(△153,514,593,408)	(△151,645,527,491)	(△150,659,442,417)	(△145,818,372,394)
分 配 準 備 積 立 金	11,822,945,600	11,687,390,256	11,533,064,675	11,367,098,153	11,433,595,435	11,129,540,740
繰 越 損 益 金	△55,726,985,061	△56,476,040,774	△60,387,396,543	△62,344,931,198	△65,257,455,550	△57,635,674,068

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 131 期	第 132 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期
(a) 経費控除後の配当等収益	614,433,986円	577,365,459円	511,683,288円	481,654,596円	420,098,966円	314,989,503円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	9,720,227,040	9,681,076,107	9,791,613,515	9,702,320,642	9,666,511,571	9,373,085,966
(d) 分 配 準 備 積 立 金	11,667,701,090	11,562,822,835	11,471,918,031	11,329,798,113	11,233,891,422	11,027,640,492
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	22,002,362,116	21,821,264,401	21,775,214,834	21,513,773,351	21,320,501,959	20,715,715,961
(f) 1万口当たり当期分配対象額	958.31	963.84	966.63	968.32	967.38	972.16
(g) 分 配 金	459,189,476	452,798,038	450,536,644	444,354,556	220,394,953	213,089,255
(h) 1万口当たり分配金	20	20	20	20	10	10

■分配金のお知らせ

決算期	第 131 期	第 132 期	第 133 期	第 134 期	第 135 期	第 136 期
1 万口当たり分配金	20円	20円	20円	20円	10円	10円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形 態	ブラジル籍外国投資法人／ブラジルリアル建投資証券
主 な 運 用 方 針	信用リスクの低い金融資産などを通じて国内金利商品に実質的に投資することにより受益者に利益を提供することを目的とします。金利市場の変動性が高まった場合においても、同市場への実質的な投資は維持します。
主 な 投 資 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・純資産総額の98%以上をブラジル政府の発行する債券に投資します。 ・派生商品取引については、流動性を有し、時価評価が可能なものについて、保有証券の範囲内で、ポートフォリオの保護または実質的な投資比率の確保の目的で利用します。 ・低流動性資産への投資は純資産総額の15%未満とします。 ・有価証券の空売りは行いません。 ・レバレッジをかける運用は行いません。 ・資金の借り入れは原則として行いません。 ・レポ取引は行いません。 ・自らが発行するユニットを含む、いかなるファンドまたは投資スキームの受益権または持分の取得も行いません。 ・為替ヘッジは行いません。
信 託 期 間	無期限
決 算 日	毎年12月31日
収 益 分 配 方 針	設定当初を除き、原則として毎月、運用会社が決定した額を分配します。
信 託 報 酬 等	純資産総額に対して年率0.25%を乗じて得た額 上記の他、証券取引に伴う手数料、ファンドの設立に関連した費用などがファンドから支払われます。
関 係 法 人	管理事務代行会社 兼 保管銀行 兼 投資顧問会社：イタウ・ユニバンコ・エス・イー

(1) 財政状態計算書

2018年12月31日現在

投資／銘柄	数量	公正価値／実現可能価額 千レアル	運用純資産に対する比率 %
1. 現金および銀行		3	0.00
銀行預金		3	0.00
2. 債券		1,687,756	101.66
2.1 連邦中期国債－NTN		1,214,141	73.13
2.2 連邦短期国債－LTN		449,638	27.08
2.3 財務省短期証券－LFT		23,977	1.45
3. デリバティブ金融商品		173	0.01
3.1 先物市場		173	0.01
4. 資産合計		1,687,932	101.67
5. デリバティブ金融商品		67	0.00
5.1 先物市場		67	0.00
6. 未払金		27,625	1.67
7. 負債合計		27,692	1.67
8. 運用純資産		1,660,240	100.00

(2) 運用純資産変動計算書

2018年および2017年12月31日終了した会計年度

(単位：1口当たり証券価額を除き、千リアル)

				2018年12月	2017年12月
期首現在運用純資産					
合計	5,765,833.350	リアル建証券 393.136365		2,266,759	
	2,854,750.130	リアル建証券 541.667626			1,546,326
証券の発行	857,913.266	証券		319,000	
	3,132,329.911	証券			1,502,800
証券の償還	1,168,782.059	証券		(1,144,095)	
	221,246.691	証券			(216,207)
アモチゼーション				(727,236)	(918,130)
証券の償還の変動額				764,095	126,207
当期損益控除前運用純資産				1,478,523	2,040,996
当期損益の構成：					
Aー債券およびその他の有価証券				205,413	225,782
公正価値でのインカム・ゲインおよび評価益の認識				188,690	206,088
取引利益 (損失)				16,723	19,694
Bーその他の収益				166,573	145,334
デリバティブによる利益				166,573	145,334
Cーその他の費用				190,269	145,353
投資顧問会社報酬				5,027	5,180
監査および保管				90	85
デリバティブによる損失				184,825	139,707
検査報酬				68	65
雑費				259	316
当期純損益				181,717	225,763
当期末現在運用純資産					
合計	5,454,964.557	リアル建証券 304.354034		1,660,240	
	5,765,833.350	リアル建証券 393.136365			2,266,759

(イタウ・ユニバンク・エス・エー提供の財務書類より作成しております。)

(3) 有価証券明細

2018年12月31日現在

銘柄名	利率	評価額	償還年月日
	%	ブラジルリアル	
NTN-B (物価連動国債)	6.00	305,448,448.54	2023/5/15
LTN (割引国債)	—	246,509,260.28	2020/7/1
NTN-B (物価連動国債)	6.00	232,998,150.05	2022/8/15
LTN (割引国債)	—	183,980,960.65	2019/4/1
NTN-B (物価連動国債)	6.00	102,462,671.64	2019/5/15
NTN-F (利付国債)	10.00	101,004,624.39	2023/1/2
NTN-B (物価連動国債)	6.00	74,676,478.00	2050/8/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	67,898,123.33	2021/5/17
NTN-F (利付国債)	10.00	60,624,338.56	2027/1/4
NTN-F (利付国債)	10.00	53,972,581.14	2025/1/2
NTN-B (物価連動国債)	6.00	42,988,351.62	2045/5/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	34,787,168.49	2035/5/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	29,164,111.47	2020/8/17
NTN-B (物価連動国債)	6.00	26,117,839.55	2024/8/15
LFT (変動金利国債)	—	23,976,784.22	2023/3/1
NTN-B (物価連動国債)	6.00	22,810,743.94	2040/8/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	21,663,064.11	2026/8/17
LTN (割引国債)	—	19,072,791.66	2019/7/1
NTN-B (物価連動国債)	6.00	17,974,526.91	2055/5/17
NTN-B (物価連動国債)	6.00	16,811,320.24	2030/8/15
NTN-B (物価連動国債)	6.00	2,703,657.05	2028/8/15
LTN (割引国債)	—	74,981.04	2019/1/2
NTN-F (利付国債)	10.00	29,359.26	2019/1/2
NTN-F (利付国債)	10.00	5,472.85	2021/1/4

(イタウ・ユニバンコ・エス・エー提供のデータより作成しております。)

短期公社債マザーファンド

第13期 運用報告書

(決算日 2019年8月22日)

『短期公社債マザーファンド』は、去る2019年8月22日に第13期の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をお知らせいたします。

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形 態	親投資信託
信 託 期 間	原則、無期限です。
運 用 方 針	主としてわが国の短期公社債に投資し、利子等の安定した収益の確保をはかることを目的として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	運用による収益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

○最近3期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	騰 落	中 率			
11期 (2017年8月22日)	円	%	%	%	百万円
	10,195	△0.05	—	—	375
12期 (2018年8月22日)	10,188	△0.07	—	—	375
13期 (2019年8月22日)	10,182	△0.06	69.0	—	365

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※実質的に本邦通貨建の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

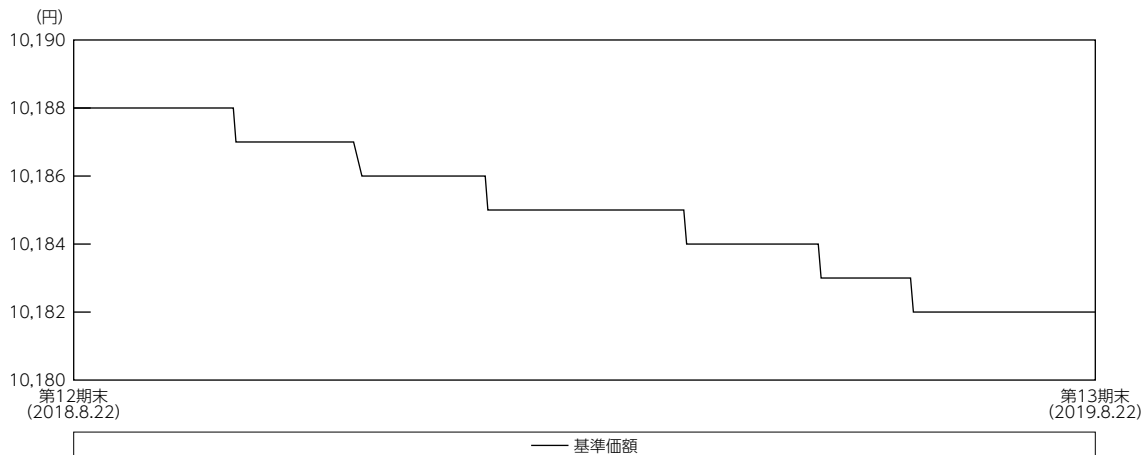
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
	騰 落	率			
(期 首) 2018年8月22日	円	%	%	%	%
	10,188	—	—	—	—
8月末	10,188	0.00	—	—	—
9月末	10,188	0.00	—	—	—
10月末	10,187	△0.01	—	—	—
11月末	10,187	△0.01	—	—	—
12月末	10,186	△0.02	—	—	—
2019年1月末	10,185	△0.03	—	—	—
2月末	10,185	△0.03	—	—	—
3月末	10,184	△0.04	—	—	—
4月末	10,184	△0.04	—	—	—
5月末	10,183	△0.05	55.4	—	—
6月末	10,182	△0.06	69.1	—	—
7月末	10,182	△0.06	69.1	—	—
(期 末) 2019年8月22日	10,182	△0.06	69.0	—	—

※騰落率は期首比。

運用経過の説明

基準価額等の推移



基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。

基準価額はマイナス金利の影響もあり期首10,188円から、10,182円に6円の値下がりとなりました。

投資環境

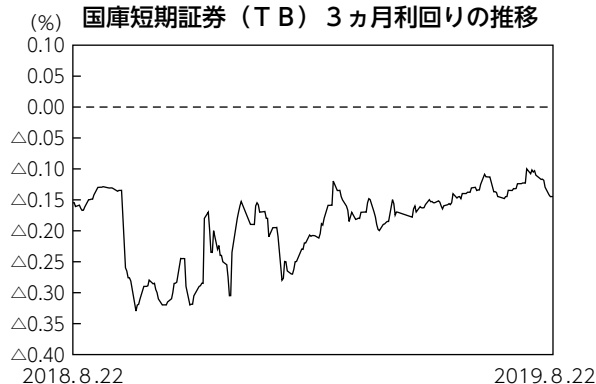
● 国内債券市場

当期間の残存1年程度の日本国債の利回りについては、日銀の金融緩和の影響もあり、マイナス金利が継続しました。

2018年はグローバルな好景気を背景に長期の国債利回りは上昇する局面もありましたが、2019年に入ると貿易問題などを背景に各国中央銀行は緩和的な金融政策にシフトしてきているため金利は低下傾向で推移しています。一方で、短期のゾーンは比較的狭いレンジの推移となりました。

国債を除く債券については、プラス利回りに対するニーズも強いことから、0%前後の利回りに張り付いた状態になっています。

国庫短期証券 (TB) 3ヵ月利回りの推移



※国庫短期証券 (TB) 3ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

■ ポートフォリオについて

流動性や信用力を勘案し、残存1年以内の公社債を中心に運用を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

本邦通貨建ての公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 今後の運用方針

引き続き残存1年以内の公社債を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2018年8月23日～2019年8月22日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2018年8月23日～2019年8月22日)

公社債

		買付額	売付額
国内	地方債証券	千円 252,944	千円 -

※金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2018年8月23日～2019年8月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年8月22日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
地方債証券	千円 250,000	千円 252,084	% 69.0	% -	% -	% -	% 69.0	
合計	250,000	252,084	69.0	-	-	-	69.0	

※組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の割合。

※信用格付けは、格付投資情報センター、ムーディーズ・インベストーズ・サービス・インク、S&Pグローバル・レーティング等を参考に記載しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
地方債証券	%	千円	千円	
第336回大阪府公募公債(10年)	1.46	50,000	50,432	2020/3/30
平成20年度第9回奈良県公債	1.38	200,000	201,651	2020/3/31
合計		250,000	252,084	

○投資信託財産の構成

(2019年8月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 252,084	% 69.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	113,280	31.0
投 資 信 託 財 産 総 額	365,364	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年8月22日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	365,364,871円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	111,901,807
地 方 債 証 券(評価額)	252,084,248
未 収 利 息	826,734
前 払 費 用	552,082
(B) 負 債	168
未 払 利 息	168
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	365,364,703
元 本	358,828,662
次 期 繰 越 損 益 金	6,536,041
(D) 受 益 権 総 口 数	358,828,662口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	10,182円

○損益の状況 (2018年8月23日~2019年8月22日)

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	629,666円
受 取 利 息	826,734
支 払 利 息	△ 197,068
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 859,752
売 買 損	△ 859,752
(C) 当 期 利 益(A+B)	△ 230,086
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	6,946,802
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 180,675
(F) 計 (C+D+E)	6,536,041
次 期 繰 越 損 益 金(F)	6,536,041

・ 解約差損益金とは、解約元本額と解約代金との差額で解約元本額を上(下)回って支払うため損(益)金として処理することになっております。

注記事項

・ 投資信託の期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額

期首元本額	368,647,987円
期中追加設定元本額	-円
期中一部解約元本額	9,819,325円
期末元本の内訳	
新光ピュア・インド株式ファンド	218,092,300円
新光ブラジル債券ファンド	107,294,012円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド (通貨選択型) 円コース	5,039,539円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド (通貨選択型) 豪ドルコース	17,759,859円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド (通貨選択型) ブラジルリアルコース	8,690,514円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド (通貨選択型) 南アフリカランドコース	1,014,560円
世界好配当アドバンスト・インフラ株式ファンド (通貨選択型) マネープールファンド	937,878円
合 計	358,828,662円